

議 会 概 要



令和 6 年 7 月

二本松市議会

目 次

I 戒石銘	1
II 市の概要	2
III 市議会概要	4
IV 市政概要	1 1

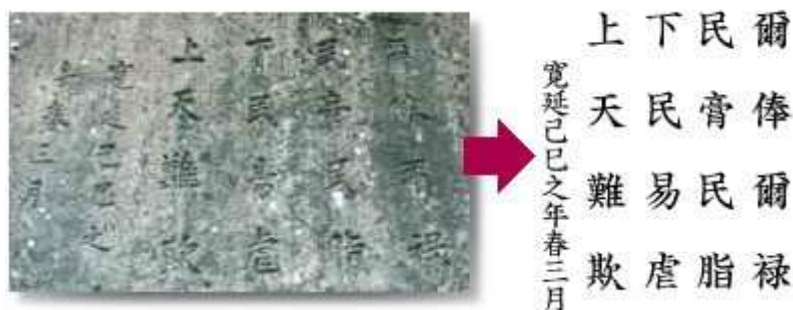
〔市 章〕

二本松市の「N」を基に、中心に集まる形は、安達地方の中心都市であることの象徴と市民の調和と団結を表し、未来へ向かい躍進する市の未来像をデザイン化したものです。緑は美しい自然、安達太良と阿武隈の山なみ、青は市の中心を流れる阿武隈川を表しています。

I 戒石銘

旧二本松藩戒石銘碑について

二本松城址(霞ヶ城址)は、江戸時代・寛永 20 年(1643 年)から明治元年(1868 年)までの 220 有余年にわたる、二本松藩・丹羽(にわ)氏 10 万 700 石の居城でした。城の東手には藩庁があって、藩士達の通用門がありました。その藩庁前に露出していた長さ約 8.5m、最大幅約 5m の自然石(花崗石)の大石に刻まれたのが“戒石銘(かいせきめい)”です。5 代藩主(丹羽家 7 代)丹羽高寛(たかひろ)公が、藩儒学者の岩井田昨非(いわいださくひ)の進言により、藩士の戒めとするため、命じて刻ませたもので、寛延 2 年(1749 年)3 月に完成しました。〔この年は、高寛公はすでに致仕(隠居)し、6 代藩主高庸(たかつね)公(高寛公の長男)の治世でした。〕銘は、露出面の縦 1.03m、横 1.82m の間に、4 句 16 字を刻み込んだもので、その書体は非常に典雅さが感じられます。



<意味>	<読み方>
お前がお上から戴く 俸禄(給料)は、 人民の汗と脂の 結晶である。 下々の人民は 虐げ易いけれども、 神をあざむくことは できない。	爾 <small>なんじ</small> の俸 <small>ほう</small> 爾 <small>なんじ</small> の禄 <small>ろく</small> は 民 <small>たみ</small> の膏 <small>こう</small> 民 <small>たみ</small> の脂 <small>し</small> なり 下民 <small>かみん</small> は虐 <small>あざむ</small> け易 <small>やす</small> きも 上天 <small>じよてん</small> は欺 <small>あざむ</small> き難 <small>がた</small> し 寛延己巳 <small>かんえんつひのとみ</small> のとし 寛延己巳之年春三月

つまり、「お前(武士)の俸給は、人民があぶらして働いたたまものより得ているのである。お前は人民に感謝し、いたわらねばならない。この気持ちを忘れて弱い人民達を虐げたりすると、きっと天罰があろうぞ。」と解釈されています。

この戒石銘が、二本松藩士の士風を奮い起こしたことは言うまでもありません。明治戊辰の戦役において、藩の子弟が二本松少年隊として西軍に対して奮戦力闘し士道に殉じ、また重臣の多くが城を枕に自刃して武士の亀鑑(模範)を示したこともまた、この戒石銘の余香であったと思われます。

昭和 10 年(1935 年)12 月 24 日、教育資料として、また行政の規範として価値の高いものであるため、国史跡「旧二本松藩戒石銘碑」として指定されました。

II 市の概要

1 市のおいたち

現在の二本松市の地域は、寛永20年（1643年）から明治元年（1868年）までの220有余年の間、丹羽光重公が入府し誕生した二本松藩10万700石の領内にあり、古くから歴史的なつながりがありました。その後、明治、昭和、平成と3回の大合併を経て現在に至っています。

旧二本松市は、明治前期には、二本松町・塩沢村・成田村・高越村・永田村・原瀬村・北杉田村・南杉田村・舘野村・箕輪村・平石村・鈴石村・西荒井村・大平村の1町13ヶ村にあたる地域でした。

明治22年4月の町村制施行により、成田村・高越村・永田村・原瀬村の4村が合併して岳下村に、北杉田村・南杉田村・舘野村・箕輪村の4村が合併して杉田村に、また、平石村・鈴石村・西荒井村の3村が合併して石井村となりました。

昭和30年1月に二本松町・塩沢村・岳下村・杉田村・石井村・大平村の1町5村が合併して二本松町が誕生しました。その後、同年4月には安達村油井の一部が編入し、昭和33年に市制施行により二本松市となりました。

旧安達町は、明治前期には、油井村・渋川村・吉倉村・米沢村・上川崎村・小沢村・下川崎村・沼袋村の8ヶ村にあたる地域でした。

明治22年4月の町村制施行により、渋川村・吉倉村・米沢村の3村が合併して渋川村に、上川崎村・小沢村の2村が合併して上川崎村に、下川崎村・沼袋村の2村が合併して下川崎村となりました。

昭和30年1月に油井村・渋川村・上川崎村の3村が合併して安達村が誕生しました。その後、昭和32年7月及び昭和33年6月に信夫郡松川町下川崎の一部が編入し、昭和35年2月に町制施行により安達町となりました。

旧岩代町は、明治前期には、小浜村・小浜成田村・西勝田村・上長折村・下長折村・西新殿村・東新殿村・杉沢村・初森村・田沢村・百目木村・茂原村の12ヶ村にあたる地域でした。

明治22年4月の町村制施行により、小浜村・小浜成田村・西勝田村・上長折村・下長折村の5村が合併して小浜村に、西新殿村・東新殿村・杉沢村・初森村の4村が合併して新殿村に、田沢村・百目木村・茂原村の3村が合併して旭村となりました。その後、明治34年に小浜村は町制施行により小浜町となりました。

昭和30年1月に小浜町・新殿村・旭村・太田村の一部の1町3村が合併して岩代町が誕生しました。

旧東和町は、明治前期には、針道村・内木幡村・外木幡村・上太田村・下太田村・北戸沢村・南戸沢村の7ヶ村にあたる地域でした。

明治22年4月の町村制施行により、内木幡村・外木幡村の2村が合併して木幡村に、上太田村・下太田村の2村が合併して太田村に、北戸沢村・南戸沢村の2村が合併して戸沢村となりました。

昭和30年1月に針道村・木幡村・太田村・戸沢村の4村が合併して東和村が誕生しました。その後、昭和35年4月に町制施行により東和町となりました。

そして、平成17年12月1日に二本松市・安達町・岩代町・東和町の4市町が合併して新「二本松市」が誕生しました。

2 市の花・木・鳥 (平成17年12月1日制定)

《 花 》 き く
《 木 》 さ く ら
《 鳥 》 う ぐ い す

3 地 勢

西部の安達太良山麓、中央部の平坦地、東部の阿武隈地域の3地帯に分類されます。西部の安達太良山麓は、奥羽山系に属する安達太良山(1,700m)の麓に広がる地域です。中央部の平坦地は、圏域を北流する阿武隈川を中心とする地域で、標高は200m~300m程度です。東部の阿武隈地域は、阿武隈山系の北部に位置し、最も高い山は日山(1,057m)であり、全体に丘陵状の起伏の多い地形となっています。

4 位 置 [北緯37度35分 東経140度26分]

南北に約17km、東西に約36kmと東西に長い形で、面積は344.42km²です。

県都福島市と郡山市のほぼ中間に位置し、市の中心から国道4号線で福島市、郡山市へともに車で約30分の距離にあります。また、国道459号は、国道114号を介して太平洋側の浪江町へと伸びています。さらに、東北地方の大動脈である東北自動車道への乗り入れは、二本松ICが市街地にあります。鉄道はJR東北本線が南北に通っていて、杉田駅、二本松駅、安達駅の3駅があります。

5 合併施行日

平成17年12月1日

※4市町(二本松市・安達町・岩代町・東和町)の新設合併

6 人口と世帯数 (令和6年4月1日現在:住民基本台帳人口)

- ・人口 50,933人(男25,234人 女25,699人)
- ・世帯数 20,665世帯

7 産業別就業人口 (令和2年国勢調査)

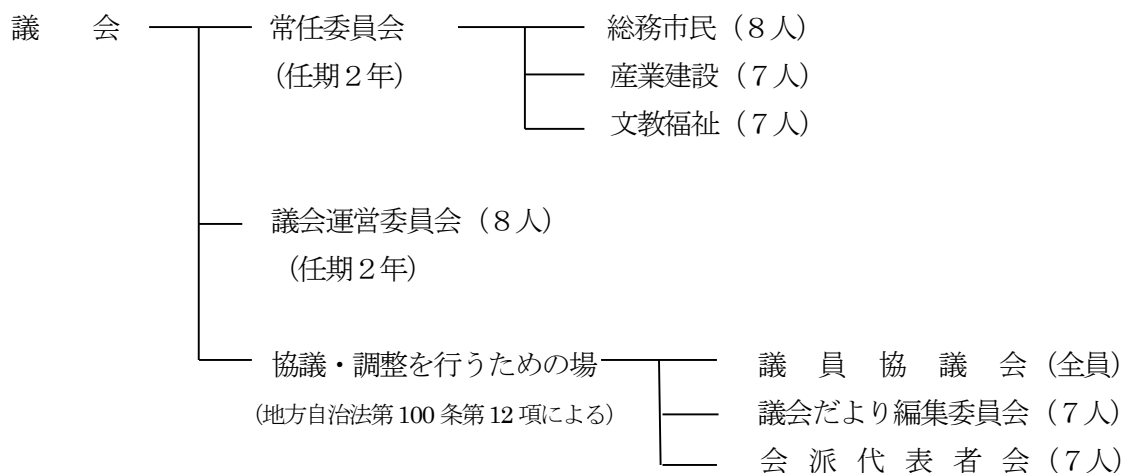
第1次産業	2,376人	[8.8%]
第2次産業	9,457人	[35.2%]
第3次産業	15,055人	[56.0%]

Ⅲ 市議会概要

1 議員数

- ・ 条例定数 22人
- ・ 現員数 21人 (令和6年7月5日現在)
- ・ 任期 令和8年6月30日

2 構成 (人数は定数)



(1) 年齢別 平均65.2歳 (令和6年7月5日現在)

40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳
1	5	7	8

(2) 政党別 (令和6年7月5日現在)

公明党	日本共産党	無所属
1	3	17

(3) 任期別 (令和6年7月5日現在)

1期	2期	3期	4期	5期	6期
3	3	3	4	2	6

(4) 会派別 (令和6年7月5日現在)

会派名	人数	会派名	人数
真誠会	5人	みらいの風	5人
日本共産党二本松市議団	3人	市政会	3人
令和創生の会	2人	無所属 (本多勝実)	1人
無所属 (加藤建也)	1人	無所属 (三木 剛)	1人

3 委員会

(1) 常任委員会

名 称	定数	所 管 事 項
総務市民常任委員会	8人	議会、総務部、会計課、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会及び市民部の所管に属する事項（支所において取り扱う事項を含む。）並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
産業建設常任委員会	7人	産業部、農業委員会、工業団地造成事業所、建設部及び宅地造成事業所の所管に属する事項（支所において取り扱う事項を含む。）
文教福祉常任委員会	7人	保健福祉部、福祉事務所及び教育委員会の所管に属する事項（支所において取り扱う事項を含む。）

(2) 議会運営委員会

- ①構 成 各会派から按分比率により選出し、8名で構成している。
正副議長も出席
- ②開 催 定例会の際は、概ね議会招集日の3日前
臨時会の際は、概ね議会招集日の前日
そのほか、議長の諮問等があった場合は随時

(3) 特別委員会

- ①予算審査特別委員会 3月定例会における当初予算審査
②決算審査特別委員会 9月定例会における決算審査
※どちらも分科会を設置している。
③議会改革調査特別委員会（令和6年6月調査終了）

4 議員協議会

- ①定例協議会 毎月21日
②そ の 他 必要に応じて招集

5 議会活動状況（令和5年）

(1) 本会議開催状況

	会 期			一 般 質 問 者 (3月は 代表質 問者含 む)	提 出 議 案 数			原 案 可 決 等	修 正 可 決	否 決
	期 間	日 数	本会議		市 長	委 員 会	議 員			
3月定例会	2/28~3/20	21	6	14	41	3		44		
6月定例会	6/6~6/20	15	5	14	11	2		13		
9月定例会	9/5~9/22	18	5	16	34			34		
12月定例会	12/5~12/18	14	5	14	34	2	2	38		
小 計		68	21	58	120	7	2	129		
1月臨時会	1/20	1	1		2			2		
5月臨時会	5/1	1	1		3			3		
小 計		2	2		5			5		
合 計		70	23		125	7	2	134		

(2) 議会審議状況 (議決した議案の内訳)

	地方自治法第96条1項議決事件				その他の議案	専決処分	合計
	条例(1号)	予算(2号)	決算(3号)	4号~14号までの議案			
市長提出	38	39	16	11	20	1	125

	条例	規則	意見書	決議	その他	合計
委員会提出	2	1	4			7
議員提出			2			2

(3) 請願等処理状況

	採択	一部採択	趣旨採択	不採択	取り下げ	審議未了	継続審査	合計
請願の件数	5			3				8
審査した場合の陳情の件数								

(4) 委員会審査状況

	日数	付託案件数			
		議案	請願	陳情	合計
総務市民常任委員会	13	42	4		46
産業建設常任委員会	10	25	2		27
文教福祉常任委員会	13	30	3		33
議会運営委員会	13				
予算審査特別委員会	7	15			15
決算審査特別委員会	7	16			16
議会改革調査特別委員会	8				

(5) 委員会行政視察 (令和5年度)

委員会	視察年月日	視察地
総務市民	R5. 11. 14~11. 16	埼玉県加須市・入間市、東京都町田市、神奈川県秦野市
産業建設	R6. 1. 31~2. 2	和歌山県和歌山市、香川県坂出市、愛媛県西条市
文教福祉	R6. 1. 23、1. 31、2. 1	岡山県奈義町、東京都奥多摩町、大阪府大阪市、兵庫県明石市 (オンライン)

6 議会費

(1) 令和6年度当初予算

(単位 千円)

節	金額	節	金額
報酬	100,080	需用費	3,953
給料	25,608	役務費	1,265
職員手当等	47,375	委託料	2,548
共済費	37,604	使用料及び賃借料	4,488
報償費	120	備品購入費	66
旅費	5,597	負担金補助及び交付金	6,145
交際費	500	合計	235,349

(2) 議員報酬 (月額)

議長	副議長	議員
445,000円	395,000円	375,000円

(平成17年12月1日施行)

(3) 議員期末手当

6月	12月
1. 675月分	1. 675月分

(令和6年4月1日施行)

(4) 費用弁償

車 賃 (1 km につき)	日 当 (1日につき)	宿 泊 料 (1夜につき)		食卓料 (1夜につき)
		甲地方	乙地方	
37 円	3,000 円	14,800 円	13,300 円	3,000 円

(5) 議員行政視察旅費等

常任委員会行政視察旅費(議員1人当り)	年額	100,000円
議会運営委員会行政視察旅費(議員1人当り)	〃	100,000円
議会改革調査特別委員会行政視察旅費(議員1人当り)	〃	100,000円

(6) 政務活動費

会派に対し、議員1人につき 月額 20,000円

7 議会事務局 (定数6名 現員数6名)

局長(1) } 総務係長(1) — 書記(1)
議事調査係長(1) — 書記(2) (※議会時のみ併任書記3名)

8 会議録

- ・ ICレコーダー録音 → データ反訳 → 校正 → 印刷・製本(業者委託)
- ・ 作成部数 50部
- ・ 配付先 市当局、図書館、地区公民館
- ・ 配付日 次期定例会招集日

9 議会報(市議会だより にほんまつ)

- ・ 発行回数 年4回(定例会毎)
- ・ 配布先 市内全世帯、市当局、図書館、地区公民館、市内小・中・高等学校等
- ・ 配布部数 約19,000部

10 歴代正副議長

議 長				副 議 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	斎藤 元	H17. 12. 8	H18. 6. 30	1	引地仙一	H17. 12. 8	H18. 6. 30
2	市川清純	H18. 7. 10	H22. 6. 30	2	加藤和信	H18. 7. 10	H22. 6. 30
3	斎藤賢一	H22. 7. 12	H26. 6. 30	3	平塚與志一	H22. 7. 12	H26. 6. 30
4	中田涼介	H26. 7. 1	H27. 8. 12	4	本多勝実	H26. 7. 1	H30. 6. 30
5	野地久夫	H27. 8. 21	H30. 6. 30	5	堀籠新一	H30. 7. 3	R 4. 6. 30
6	本多勝実	H30. 7. 3	R 4. 6. 30	6	安齋政保	R 4. 7. 5	現 在
7	本多勝実	R 4. 7. 5	現 在				

11 歴代正副委員長

●平成17年12月8日～平成20年7月10日

【総務常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	斎藤徳仁	H17. 12. 8	H18. 6. 30	1	安田政彦	H17. 12. 8	H18. 6. 30
2	斎藤徳仁	H18. 7. 10	H20. 7. 10	2	浅川吉寿	H18. 7. 10	H20. 7. 10

【生活福祉常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	佐久間 勝	H17. 12. 8	H18. 6. 30	1	斎藤賢一	H17. 12. 8	H18. 6. 30
2	中沢武夫	H18. 7. 10	H20. 2. 12	2	野地久夫	H18. 7. 10	H20. 2. 12
3	野地久夫	H20. 2. 12	H20. 7. 10	3	斎藤康晴	H20. 2. 12	H20. 7. 10

【産業建設常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	斎藤広二	H17. 12. 8	H18. 6. 30	1	佐藤源市	H17. 12. 8	H18. 6. 30
2	佐藤源市	H18. 7. 10	H20. 7. 10	2	鈴木利英	H18. 7. 10	H20. 7. 10

【文教常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	佐藤一男	H17. 12. 8	H18. 6. 30	1	菅野国男	H17. 12. 8	H18. 6. 30
2	平栗征雄	H18. 7. 10	H20. 7. 10	2	斎藤賢一	H18. 7. 10	H20. 7. 10

●平成20年7月23日～平成30年6月30日

【総務常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
3	浅川吉寿	H20. 7. 23	H22. 6. 30	3	本多勝実	H20. 7. 23	H21. 11. 20
4	高橋正弘	H22. 7. 12	H24. 7. 11	4	斎藤康晴	H21. 11. 20	H22. 6. 30
5	安部匡俊	H24. 7. 20	H26. 6. 30	5	堀籠新一	H22. 7. 12	H24. 7. 11
6	堀籠新一	H26. 7. 1	H28. 6. 30	6	小林 均	H24. 7. 20	H26. 6. 30
7	菅野寿雄	H28. 7. 21	H30. 6. 30	7	深谷勇吉	H26. 7. 1	H28. 6. 30
				8	深谷勇吉	H28. 7. 21	H30. 6. 30

【市民産業常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	野地久夫	H20. 7. 23	H22. 6. 30	1	三浦一良	H20. 7. 23	H22. 6. 30
2	菅野 明	H22. 7. 12	H24. 7. 11	2	佐藤公伯	H22. 7. 12	H24. 7. 11
3	佐藤公伯	H24. 7. 20	H26. 6. 30	3	菅野寿雄	H24. 7. 20	H26. 6. 30
4	菅野寿雄	H26. 7. 1	H28. 6. 30	4	本多俊昭	H26. 7. 1	H28. 6. 30
5	五十嵐勝蔵	H28. 7. 21	H30. 6. 30	5	小野利美	H28. 7. 21	H30. 6. 30

【建設水道常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	鈴木利英	H20. 7. 23	H22. 6. 30	1	斎藤周一	H20. 7. 23	H22. 6. 30
2	斎藤周一	H22. 7. 12	H24. 7. 11	2	佐藤 有	H22. 7. 12	H24. 7. 11
3	斎藤周一	H24. 7. 20	H26. 6. 30	3	佐藤 有	H24. 7. 20	H26. 6. 30
4	佐藤 有	H26. 7. 1	H28. 6. 30	4	安齋政保	H26. 7. 1	H28. 6. 30
5	堀籠新一	H28. 7. 21	H30. 6. 30	5	安齋政保	H28. 7. 21	H30. 6. 30

【文教福祉常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	安部匡俊	H20. 7. 23	H22. 6. 30	1	高橋正弘	H20. 7. 23	H22. 6. 30
2	本多勝実	H22. 7. 12	H24. 7. 11	2	五十嵐勝蔵	H22. 7. 12	H24. 7. 11
3	五十嵐勝蔵	H24. 7. 20	H26. 6. 30	3	平 敏 子	H24. 7. 20	H26. 6. 30
4	小林 均	H26. 7. 1	H28. 6. 30	4	熊田義春	H26. 7. 1	H28. 6. 30
5	佐藤 有	H28. 7. 21	H30. 6. 30	5	本多俊昭	H28. 7. 21	H30. 6. 30

●平成30年7月3日～現在

【総務市民常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	本多俊昭	H30. 7. 3	R 2. 7. 2	1	加藤建也	H30. 7. 3	R 2. 7. 2
2	石井 馨	R 2. 7. 21	R 4. 6. 30	2	加藤建也	R 2. 7. 21	R 4. 6. 30
3	小林 均	R 4. 7. 5	R 6. 7. 4	3	斎藤 徹	R 4. 7. 5	R 6. 7. 4
4	坂本和広	R 6. 7. 19	現 在	4	平 敏 子	R 6. 7. 19	現 在

【産業建設常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	安齋政保	H30. 7. 3	R 2. 7. 2	1	石井 馨	H30. 7. 3	R 2. 7. 2
2	小野利美	R 2. 7. 21	R 4. 6. 30	2	斎藤 徹	R 2. 7. 21	R 4. 6. 30
3	鈴木一弘	R 4. 7. 5	R 6. 7. 4	3	佐久間好夫	R 4. 7. 5	R 6. 7. 4
4	佐藤運喜	R 6. 7. 19	現 在	4	佐久間好夫	R 6. 7. 19	現 在

【文教福祉常任委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
6	小野利美	H30. 7. 3	R 2. 7. 2	6	佐藤運喜	H30. 7. 3	R 2. 7. 2
7	平 敏 子	R 2. 7. 21	R 4. 6. 30	7	佐藤運喜	R 2. 7. 21	R 4. 6. 30
8	佐藤運喜	R 4. 7. 5	R 6. 7. 4	8	坂本和広	R 6. 7. 4	R 6. 7. 4
9	斎藤 徹	R 6. 7. 19	現 在	9	小林 均	R 6. 7. 19	現 在

●平成17年12月8日～現在

【議会運営委員会】

委 員 長				副 委 員 長			
歴代	氏 名	就 任	退 任	歴代	氏 名	就 任	退 任
1	新野 洋	H17.12.8	H18.6.30	1	三浦喜徳郎	H17.12.8	H18.6.30
2	新野 洋	H18.7.10	H20.7.10	2	安部 匡俊	H18.7.10	H20.7.10
3	斎藤 賢一	H20.7.23	H22.6.30	3	遠藤 芳位	H20.7.23	H22.6.30
4	中田 涼介	H22.7.12	H24.7.11	4	佐藤 源市	H22.7.12	H24.7.11
5	中田 涼介	H24.7.20	H26.6.30	5	本多 勝実	H24.7.20	H26.6.30
6	野地 久夫	H26.7.1	H27.8.13	6	高橋 正弘	H26.7.1	H27.8.21
7	高橋 正弘	H27.8.21	H28.6.30	7	熊田 義春	H27.8.21	H28.6.30
8	佐藤 源市	H28.7.20	H30.6.30	8	熊田 義春	H28.7.20	H30.6.30
9	熊田 義春	H30.7.3	R 2.7.2	9	平塚 與志一	H30.7.3	R 2.7.2
10	熊田 義春	R 2.7.20	R 4.6.30	10	鈴木 一弘	R 2.7.20	R 4.6.30
11	小野 利美	R 4.7.5	R 6.7.4	11	堀籠 新一	R 4.7.5	R 6.7.4
12	菅野 明	R 6.7.18	現 在	12	堀籠 新一	R 6.7.18	現 在

12 議会選出監査委員

歴代	氏 名	就 任	退 任
1	市川 清純	H18.1.26	H18.6.30
2	鈴木 隆	H18.7.19	H22.6.30
3	浅川 吉寿	H22.7.21	H26.6.30
4	斎藤 賢一	H26.7.18	H30.6.30
5	平塚 與志一	H30.7.20	R 4.6.30
6	佐藤 有	R 4.7.21	現 在

IV 市政概要

1 令和6年度重点施策

基本目標1 健康で暮らし続けられるまち

- ・障がい者福祉施設等整備事業 ・生活困窮者自立支援事業 ・敬老事業
- ・温泉等利用健康増進事業 ・高齢者の公共交通の運賃無料化事業
- ・介護予防普及啓発事業 ・認知症地域支援・ケア向上事業 ・生活習慣病予防事業
- ・食で健康プロジェクト事業

基本目標2 地域の誇りに満ちた活力あるまち

- ・市民との協働による地域づくり支援事業 ・地域おこし・集落支援事業
- ・移住・定住促進事業 ・道の駅「ふくしま東和」管理運営事業
- ・地域担い手育成総合支援事業 ・新規就農者支援事業 ・林道施設長寿命化修繕事業
- ・有害鳥獣被害対策事業 ・循環型農業推進事業 ・畜産生産振興事業 ・商工業融資事業
- ・商店街活性化推進事業 ・工場等立地促進事業 ・観光立市推進事業 ・DMO推進事業
- ・霞ヶ城公園整備事業 ・あだたら溪谷自然遊歩道整備事業 ・二本松城跡調査事業
- ・歴史文化体験事業 ・無形民俗文化財記録保存事業

基本目標3 世代をつないで人を育むまち

- ・多世代同居住宅改修助成金事業 ・移住促進住宅取得奨励金事業
- ・来てにほんまつ住宅取得支援事業 ・大卒者等定住促進奨励金
- ・住んでにほんまつ空き家対策総合支援事業 ・結婚推進支援事業
- ・笑顔さんさん祝金支給事業 ・病児保育事業
- ・保育所、認定こども園、幼稚園保育料の助成事業 ・延長保育事業 ・一時保育促進事業
- ・保育士宿舎借り上げ支援事業 ・こども家庭センターの設置 ・出産・子育て応援事業
- ・妊婦健康診査事業 ・幼児フッ化物歯面塗布事業 ・学校給食と食育の推進
- ・小・中学校改修整備事業 ・学校給食センター施設、設備等改修等事業
- ・学力向上対策事業 ・学習支援事業「土曜学び塾」 ・外国語活動講師派遣事業
- ・教育相談推進、生活相談員活用、教育支援センター管理運営 ・介助員配置事業
- ・ICT環境整備事業

基本目標4 安全で快適な暮らしのあるまち

- ・公共交通の充実 ・犯罪被害者等支援事業 ・地域猫等不妊去勢手術補助
- ・生ごみ処理機等購入補助 ・放射能除染事業 ・消防団の活性化 ・救急医療事業
- ・放射性物質吸収抑制対策 ・ため池等放射性物質対策 ・ふくしま森林再生事業
- ・森林経営管理事業 ・広葉樹林再生事業 ・道路橋長寿命化修繕事業 ・緊急浚渫推進事業
- ・居住誘導区域内宅地開発推進助成制度 ・二本松駅南地区整備事業
- ・ブロック塀等除却費補助事業 ・空家除却費補助事業
- ・上水道第七次拡張（未普及地域解消）事業
- ・上水道第七次拡張（未普及地域解消）事業給水装置工事費補助金
- ・生活用水確保対策事業

その他

- ・ふるさと納税の推進 ・EV車導入の推進 ・公共施設LED照明改修事業
- ・行政事務デジタル化の推進 ・固定資産評価基礎資料整備業務
- ・保育所等事務のICT化の推進

2 予算状況

(1) 令和6年度各会計当初予算

(単位 千円)

会計名	6年度当初	5年度当初	比較	
			増減額	伸率 (%)
一般会計	30,667,334	29,179,169	1,488,165	5.1

《特別会計》

会計名	6年度当初	5年度当初	比較	
			増減額	伸率 (%)
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	5,378,065	5,711,140	△333,075	△ 5.8
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	92,703	102,513	△9,810	△ 9.6
後期高齢者医療特別会計	776,860	715,188	61,672	8.6
介護保険特別会計	6,455,163	6,379,199	75,964	1.2
土地取得特別会計	7,033	21,338	△14,305	△ 67.0
公設地方卸売市場特別会計	15,381	17,586	△2,205	△ 12.5
茂原財産区特別会計	1,325	1,298	27	2.1
田沢財産区特別会計	245	270	△25	△ 9.3
石平財産区特別会計	2,207	2,207	0	0.0
針道財産区特別会計	156	231	△75	△ 32.5
小手森財産区特別会計	1,169	1,274	△105	△ 8.2
計	12,730,307	12,952,244	△221,937	△ 1.7

《企業会計》

会計名	6年度当初	5年度当初	比較	
			増減額	伸率 (%)
工業団地造成事業会計	1,011,109	1,299,480	△288,371	△ 22.2
宅地造成事業会計	148,857	130,906	17,951	13.7
水道事業会計	2,570,777	2,720,997	△150,220	△ 5.5
下水道事業会計	1,517,134	1,536,167	△19,033	△ 1.2
計	5,247,877	5,687,550	△439,673	△ 7.7

(注) 企業会計の予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計額。

(2) 令和6年度一般会計当初予算

歳入

(単位 千円、%)

款	令和6年度		令和5年度		比較	
	当初	構成比	当初	構成比	増減額	伸率
1 市 税	6,786,051	22.1	6,789,807	23.3	△3,756	△0.1
2 地 方 譲 与 税	470,541	1.5	457,001	1.6	13,540	3.0
3 利 子 割 交 付 金	2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	21,000	0.1	21,000	0.1	0	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	15,000	0.0	28,000	0.1	△13,000	△46.4
6 法 人 事 業 税 交 付 金	124,000	0.4	92,000	0.3	32,000	34.8
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,410,000	4.6	1,469,000	5.0	△59,000	△4.0
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	8,000	0.0	7,000	0.0	1,000	14.3
9 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	34,000	0.1	31,000	0.1	3,000	9.7
10 地 方 特 例 交 付 金	262,117	0.9	46,001	0.2	216,116	469.8
11 地 方 交 付 税	9,130,000	29.8	8,659,000	29.7	471,000	5.4
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,920	0.0	7,300	0.0	△380	△5.2
13 分 担 金 及 び 負 担 金	232,394	0.8	236,150	0.8	△3,756	△1.6
14 使 用 料 及 び 手 数 料	304,234	1.0	306,841	1.0	△2,607	△0.8
15 国 庫 支 出 金	3,961,927	12.9	3,389,167	11.6	572,760	16.9
16 県 支 出 金	3,043,191	9.9	2,642,899	9.1	400,292	15.1
17 財 産 収 入	100,434	0.3	103,218	0.4	△2,784	△2.7
18 寄 附 金	180,000	0.6	150,000	0.5	30,000	20.0
19 繰 入 金	2,110,497	6.9	1,902,690	6.5	207,807	10.9
20 繰 越 金	50,000	0.2	50,000	0.2	0	0.0
21 諸 収 入	906,467	3.0	947,697	3.2	△41,230	△4.4
22 市 債	1,508,561	4.9	1,841,398	6.3	△332,837	△18.1
合 計	30,667,334	100.0	29,179,169	100.0	1,488,165	5.1

歳 出

(単位 千円、%)

款	令和6年度		令和5年度		比 較	
	当 初	構成比	当 初	構成比	増減額	伸 率
1 議 会 費	235,349	0.8	236,951	0.8	△1,602	△0.7
2 総 務 費	3,489,231	11.4	3,669,600	12.6	△180,369	△4.9
3 民 生 費	9,295,789	30.3	8,964,594	30.7	331,195	3.7
4 衛 生 費	2,575,887	8.4	2,631,260	9.0	△55,373	△2.1
5 労 働 費	7,244	0.0	7,397	0.0	△153	△2.1
6 農 林 水 産 業 費	2,519,204	8.2	1,401,289	4.8	1,117,915	79.8
7 商 工 費	1,405,159	4.6	1,368,158	4.7	37,001	2.7
8 土 木 費	3,117,269	10.2	3,032,773	10.4	84,496	2.8
9 消 防 費	987,200	3.2	947,224	3.2	39,976	4.2
10 教 育 費	3,415,150	11.1	3,542,328	12.2	△127,178	△3.6
11 災 害 復 旧 費	95,500	0.3	17,325	0.1	78,175	451.2
12 公 債 費	3,467,928	11.3	3,301,081	11.3	166,847	5.1
13 諸 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
14 予 備 費	56,423	0.2	59,188	0.2	△2,765	△4.7
合 計	30,667,334	100.0	29,179,169	100.0	1,488,165	5.1

性質別予算

(単位 千円、%)

	令和6年度		令和5年度		比較	
	当初	構成比	当初	構成比	増減額	伸率
人件費	5,154,198	16.8	4,963,014	17.0	191,184	3.9
物件費	6,840,866	22.3	5,477,548	18.8	1,363,318	24.9
維持補修費	398,192	1.3	474,542	1.6	△76,350	△16.1
扶助費	3,379,778	11.0	3,261,981	11.2	117,797	3.6
補助費等	5,636,192	18.4	5,409,444	18.5	226,748	4.2
普通建設事業費	2,193,453	7.1	2,901,415	9.9	△707,962	△24.4
災害復旧事業費	95,500	0.3	17,325	0.1	78,175	451.2
公債費	3,467,928	11.3	3,301,081	11.3	166,847	5.1
積立金	290,707	0.9	260,904	0.9	29,803	11.4
投資及び出資金	1,250	0.1	19,600	0.1	△18,350	△93.6
貸付金	724,667	2.4	640,487	2.2	84,180	13.1
繰出金	2,428,180	7.9	2,392,640	8.2	35,540	1.5
予備費	56,423	0.2	59,188	0.2	△2,765	△4.7
前年度繰上充用金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	30,667,334	100.0	29,179,169	100.0	1,488,165	5.1

3 市の機構等

(1) 職員数 (令和6年4月1日現在)

	定数	実数		定数	実数
市長部局	481	413	農業委員会事務局	5	4
議会事務局	6	6	公営企業	31	21
教育委員会	129	55	派遣等その他		20
選挙管理委員会事務局	2	1			
監査委員事務局	2	2	計	656	522

(2) 常勤特別職給料 (月額)

市長	副市長	教育長
970,000円	775,000円	730,000円

二本松市議会概要

発行 令和6年7月

編集 二本松市議会事務局

〒964-8601

福島県二本松市金色403番地1

TEL 0243-55-5143 (総務係)

0243-55-5144 (議事調査係)

FAX 0243-22-6047